

第51回（平成30年度）岡山県三木記念賞受賞者決定
－授与式を挙ります－

故 岡山県知事三木行治氏が受賞されたマグサイサイ賞の賞金等を原資とした基金により、地域社会の発展に貢献した者を顕彰する岡山県三木記念賞について、第51回（平成30年度）受賞者を次のとおり決定しました。

1 受賞者決定までの経過

- ・ 4月16日（月） 候補者の募集開始
- ・ 5月15日（火） 推薦締切り ※候補者数 8人
- ・ 7月 5日（木） 第1回運営審議会……受賞候補者選考の諮問
- ・ 7月25日（水） 第2回運営審議会……受賞候補者の選考及び答申

2 受賞者（表彰状・メダル及び賞金30万円）

氏 名	年齢	役 職 等
くろずみ むねはる 黒 住 宗 晴	80	黒住教 名誉教主

3 授与式

- (1) 日 時 平成30年8月31日（金）16時30分から
- (2) 場 所 ルネスホール（岡山市北区内山下1-6-20）
- (3) 出席者 受賞者、知事、議長、過去の受賞者等 約30名

4 その他

今回の受賞者で累計の受賞者は226名となります。

三木記念賞

岡山市北区尾上

くろずみ むねはる

黒住宗晴（80歳）

1 主な経歴

- 昭和35年 3月 京都大学文学部哲学科卒業
- 昭和36年 4月 黒住教 青年連盟長
- 昭和47年1 1月 黒住教 副教主
- 昭和48年 5月 黒住教 第六代教主（平成29年9月まで）
- 昭和48年 6月 社会福祉法人旭川荘 理事（現在に至る）
- 平成 5年 1月 公益財団法人大本育英会 理事長（現在に至る）
- 平成 5年 2月 ぐらしきコンサート協賛クラブレの会 会長（現在に至る）
- 平成 9年 8月 社会福祉法人山陽新聞社会事業団 理事（現在に至る）
- 平成11年 5月 公益社団法人日本工芸会中国支部 顧問（現在に至る）
- 平成14年1 1月 岡山県文化賞選考委員（現在に至る）
- 平成22年1 1月 岡山県立美術館運営協議会委員（現在に至る）
- 平成29年 9月 黒住教 名誉教主（現在に至る）

2 功績の概要

氏は、昭和40年、中・四国を対象に「重症心身障害児施設建設運動」を起こし、社会福祉法人旭川荘 重症心身障害児施設「旭川児童院」の設立に奔走し、その功勞により、昭和42年1月に山陽新聞賞を受賞した。

その後も旭川荘の運営に尽力し、昭和48年から現在に至るまで旭川荘の理事を務めている。

氏の福祉分野での活躍は、旭川荘にとどまらず、南野育成園、岡山県立岡山西支援学校の教育後援会長として児童養護、知的障害教育にも尽力し、また、公益財団法人大本育英会の理事長として岡山県出身の高校・高専・大学生の奨学支援やおかやま希望学園の教育後援会長も務めるなど、青少年の学習機会の拡大を図る活動にも鋭意取り組んでおり、福祉分野での活躍に加え、青少年教育・育成における貢献も大きい。

平成5年に創立した「ぐらしきコンサート協賛 クラブレの会」では、自ら会長を務め、心ある方々の協力を得て、郷土の中・高校生にクラシック音楽を提供する活動も高い評価を受けている。

備前焼等の伝統工芸、書画、美術についての造詣も深く、また、有形無形を問わず文化的所産の保護にも寄与するなど文化面での貢献も大きく、公益社団法人日本工芸会中国支部顧問、岡山県文化賞選考委員長、岡山県立美術館運営協議会副委員長も務めている。

以上のように、氏の人間愛と郷土愛の精神に立脚した社会活動は、本県の障害者福祉、児童福祉、青少年育成、芸術文化の発展へ大きく貢献しており、その功績は誠に顕著である。